

# おすすめICT活用事例のご紹介

区分		学年	教科	単元等	活用ソフト																									
中		3	国語	漢字「音読み訓読み」	プレゼンテーションソフト																									
授業内容	分類することで熟語のさまざまな読み方を理解しよう				活用ツール	カード移動・描画																								
	準備： ・ワークシート用ファイルを作成する。 ・ワークシート用ファイルのスライドをクラスの人数分コピーして共同編集できる場所に保存する。				<div>熟語の読み方をもとに分類してみましょう。</div> <table><tr><td>残高</td><td>即答</td><td>絵筆</td><td>手紙</td><td>見本</td><td>毛糸</td><td>必勝</td><td>台所</td></tr><tr><td>場所</td><td>素直</td><td>本屋</td><td>花火</td><td>歓迎</td><td>着物</td><td>高台</td><td>歌声</td></tr><tr><td>朝晩</td><td>消印</td><td>無言</td><td>黒潮</td><td>行楽</td><td>兄貴</td><td>強弱</td><td>幕内</td></tr></table> <div>熟語の読み方をもとに分類してみましょう。</div> <p>読み方をもとに、熟語进行分类する</p>		残高	即答	絵筆	手紙	見本	毛糸	必勝	台所	場所	素直	本屋	花火	歓迎	着物	高台	歌声	朝晩	消印	無言	黒潮	行楽	兄貴	強弱	幕内
	残高	即答	絵筆	手紙			見本	毛糸	必勝	台所																				
	場所	素直	本屋	花火			歓迎	着物	高台	歌声																				
朝晩	消印	無言	黒潮	行楽	兄貴	強弱	幕内																							
授業の流れ： 1. ワークシートとして指定されたファイルを開き、自分の出席番号のスライドを選ぶ。 2. ワークシートにある熟語を音読み・訓読みなど読み方をもとに、分類する。 ※辞書やインターネットを使って、音読み・訓読みなどを調べてもよい。 ※スライドの横にある、「音読み」「訓読み」「重箱読み」「湯桶読み」をヒントに分類する。 3. ペアで、分類した結果を見せ合い、ちがうところを辞書などで確認する。 4. 全体で結果を確認する。																														
ICT利活用のポイント		熟語を動かして、試行錯誤しながら分類・整理することができます。 他者参照しながら取り組むこともできます。																												
おすすめポイント		ワークシート例をお使いいただけます。																												